システム ステータスのモニタ

- クラスタ ノード ステータスの表示 （1 ページ）
- ハードウェア ステータスの表示 （1 ページ）
- ネットワーク ステータスの表示 （2 ページ）
- インストールされているソフトウェアの表示 （2 ページ）
- システム ステータスの表示 （3 ページ）
- IP 設定の表示 （3 ページ）
- 最終ログインの詳細表示 （4 ページ）
- ノードへの ping の送信 （4 ページ）
- サービス パラメータの表示 （5 ページ）

クラスタ ノード ステータスの表示

この手順を使用して、クラスタ内のノードに関する情報を表示します。

手順

ステップ 1 [Cisco Unified オペレーティング システムの管理（Cisco Unified Operating System Administration）] で、**[表示（Show）]** > **[クラスタ（Cluster）]** を選択します。

ステップ 2 [クラスタ（Cluster）] ウィンドウのフィールドを調べます。フィールドの詳細については、オンライン ヘルプを参照してください。

ハードウェア ステータスの表示

ハードウェア ステータスおよびシステム内のハードウェア リソースに関する情報を表示するには、この手順を実行します。

手順

ステップ 1 [Cisco Unified オペレーティング システムの管理（Cisco Unified Operating System Administration）] で、**[表示（Show）]** > **[ハードウェア（Hardware）]** を選択します。

ステップ 2 [ハードウェア ステータス（Hardware Status）] ウィンドウのフィールドを調べます。フィールドの詳細については、オンライン ヘルプを参照してください。

ネットワーク ステータスの表示

イーサネットおよび DNS 情報など、システムのネットワーク ステータスを表示するには、この手順を実行します。

表示されるネットワーク ステータス情報は、ネットワーク耐障害性が有効になっているかどうかによって異なります。

- ネットワーク耐障害性が有効になっていると、イーサネット ポート 0 に障害が発生した場合、イーサネット ポート 1 が自動的にネットワーク通信を管理します。
- ネットワーク耐障害性が有効になっている場合、ネットワーク ポートのイーサネット 0、イーサネット 1、および Bond 0 のネットワーク ステータス情報が表示されます。
- ネットワーク耐障害性が有効になっていない場合、イーサネット 0 のステータス情報のみが表示されます。

手順

ステップ 1 [Cisco Unified オペレーティング システムの管理（Cisco Unified Operating System Administration）] で、**[表示（Show）]** > **[ネットワーク（Network）]** を選択します。

ステップ 2 [ネットワーク構成（Network Configuration）] ウィンドウのフィールドを調べます。フィールドの詳細については、オンライン ヘルプを参照してください。

インストールされているソフトウェアの表示

ソフトウェアのバージョンおよびインストールされているソフトウェア パッケージに関する情報を表示するには、この手順を実行します。

手順

ステップ 1 [Cisco Unified オペレーティング システムの管理（Cisco Unified Operating System Administration）] で、**[表示（Show）]** > **[ソフトウェア（Software）]** を選択します。

ステップ 2 [ソフトウェア パッケージ（Software Packages）] ウィンドウのフィールドを調べます。フィールドの詳細については、オンライン ヘルプを参照してください。

システム ステータスの表示

ロケール、稼働時間、CPU使用量、メモリ使用量などのシステム全体の状態を表示するには、この手順を実行します。

手順

ステップ 1 [Cisco Unified オペレーティング システムの管理（Cisco Unified Operating System Administration）] で、**[表示（Show）]** > **[システム（System）]** を選択します。

ステップ 2 [システム ステータス（System Status）] ウィンドウを調べます。フィールドの詳細については、オンライン ヘルプを参照してください。

IP 設定の表示

この手順を使用して、システムで利用可能な登録済みポートの一覧を表示します。

手順

ステップ 1 [Cisco Unified オペレーティング システムの管理（Cisco Unified Operating System Administration）] で、**[表示（Show）]** > **[IP 設定（IP Preferences）]** を選択します。

ステップ 2 （任意） レコードをフィルタリングまたは検索するには、次のいずれかのタスクを実行します。

- 最初の一覧から検索パラメータを選択します。
- 2 番目の一覧から検索パターンを選択します。
- 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。

ステップ 3 [検索（Find）] をクリックします。

ステップ 4 [システム ステータス（System Status）] ウィンドウに表示されるフィールドを調べます。フィールドの詳細については、オンライン ヘルプを参照してください。

最終ログインの詳細表示

エンドユーザ（ローカルまたは LDAP のいずれかのクレデンシャル）と管理者が Cisco Unified Communications Manager または IM and Presence Service のために、Web アプリケーションにログインする場合、メインアプリケーション ウィンドウには、成功したログインと成功しなかったログインの最後のものの詳細が表示されます。

SAML SSO 機能を使用してログインするユーザに対しては、最後の正常なシステム ログイン情報のみ表示されます。成功しなかった SAML SSO ログイン情報をユーザがトラッキングするには、ID プロバイダ（IdP）アプリケーションを参照できます。

次の Web アプリケーションでは、ログイン試行情報が表示されます。

- Cisco Unified Communications Manager：
  - Cisco Unified CM Administration
  - Cisco Unified Reporting
  - Cisco Unified Serviceability
- IM and Presence Service
  - Cisco Unified CM IM and Presence の管理
  - Cisco Unified IM and Presence のレポート
  - Cisco Unified IM and Presence サービスアビリティ

Cisco Unified Communications Manager で以下の Web アプリケーションにログインし、それについての最後のログイン詳細を表示できるのは、管理者だけです。

- Disaster Recovery System
- Cisco Unified OS Administration

ノードへの ping の送信

ping ユーティリティを使用して、ネットワーク内の別のサーバに ping を送信します。ping の結果は、デバイス接続の検証またはトラブルシューティングに役立ちます。

手順

ステップ 1 [Cisco Unified オペレーティング システムの管理（Cisco Unified Operating System Administration）] で、**[サービス（Services）]** > **[Ping]** を選択します。

ステップ 2 [Ping の設定（Ping Configuration）] ウィンドウで各フィールドを設定します。フィールドとその設定オプションの詳細については、オンライン ヘルプを参照してください。

ステップ 3 [Ping] を選択します。

ping の結果が表示されます。

サービス パラメータの表示

クラスタ内のすべてのサーバで特定のサービスに属するサービスパラメータをすべて比較する必要がある場合があります。また、同期外れパラメータ（サーバ間で値が異なるサービスパラメータ）または提示された値から変更されているパラメータだけを表示する必要がある場合もあります。

次の手順を使用して、クラスタ内のすべてのサーバ上の特定のサービスのサービスパラメータを表示します。

手順

ステップ 1 **[システム（System）]** > **[サービス パラメータ（Service Parameters）]** を選択します。

ステップ 2 [サーバ（Server）] ドロップダウン リスト ボックスからサーバを選択します。

ステップ 3 [サービス（Service）] ドロップダウン リスト ボックスから、クラスタ内のすべてのサーバに対するサービス パラメータを表示するサービスを選択します。

（注） [サービス パラメータ設定（Service Parameter Configuration）] ウィンドウに、すべてのサービス（アクティブおよび非アクティブ）が表示されます。

ステップ 4 表示された [サービス パラメータ設定（Service Parameter Configuration）] ウィンドウの [関連リンク（Related Links）] ドロップダウン リスト ボックスで、[すべてのサーバに対するパラメータ（Parameters for All Servers）] を選択し、[移動（Go）] をクリックします。

[すべてのサーバに対するパラメータ（Parameters for All Servers）] ウィンドウが表示されます。現在のサービスのすべてのパラメータが、アルファベット順に一覧表示されます。各パラメータの推奨値が、そのパラメータ名の横に表示されます。各パラメータ名の下に、そのパラメータを含むサーバのリストが表示されます。各サーバ名の横に、このサーバのパラメータの現在値が表示されます。

特定のパラメータについて、サーバ名または現在のパラメータ値をクリックすると、対応するサービスパラメータ ウィンドウが開き、値を変更できます。[前へ（Previous）] と [次へ（Next）] をクリックすると、[すべてのサーバに対するパラメータ（Parameters for All Servers）] ウィンドウ間を移動できます。

ステップ 5 非同期になっているサービス パラメータを表示する必要がある場合は、[関連リンク（Related Links）] ドロップダウン リストで [すべてのサーバに対する同期外れパラメータ（Out of Sync Parameters for All Servers）] を選択し、[移動（Go）] をクリックします。

[すべてのサーバに対する同期外れパラメータ（Out of Sync Parameters for All Servers）] ウィンドウが表示されます。現在のサービスについて、サーバごとに異なる値を持つサービス パラメータがアルファベット順に表示されます。各パラメータの推奨値が、そのパラメータ名の横に表示されます。各パラメータ名の下に、そのパラメータを含むサーバのリストが表示されます。各サーバ名の横に、このサーバのパラメータの現在値が表示されます。

特定のパラメータについて、サーバ名または現在のパラメータ値をクリックすると、対応するサービスパラメータ ウィンドウが開き、値を変更できます。[前へ（Previous）] と [次へ（Next）] をクリックすると、[すべてのサーバに対する同期外れパラメータ（Out of Sync Parameters for All Servers）] ウィンドウ間を移動できます。

ステップ 6 推奨値から変更されたサービスパラメータを表示する必要がある場合は、[関連リンク（Related Links）] ドロップダウン リスト ボックスで [すべてのサーバに対する変更済みパラメータ（Modified Parameters for All Servers）] を選択し、[移動（Go）] をクリックします。

[すべてのサーバに対する変更済みパラメータ（Modified Parameters for All Servers）] ウィンドウが表示されます。現在のサービスについて、推奨値とは異なる値を持つサービスパラメータがアルファベット順に表示されます。各パラメータの推奨値が、そのパラメータ名の横に表示されます。各パラメータ名の下に、推奨値とは異なる値を持つサーバの一覧が表示されます。各サーバ名の横に、このサーバのパラメータの現在値が表示されます。

特定のパラメータについて、サーバ名または現在のパラメータ値をクリックすると、対応するサービスパラメータ ウィンドウが開き、値を変更できます。[前へ（Previous）] と [次へ（Next）] をクリックすると、[すべてのサーバに対する変更済みパラメータ（Modified Parameters for All Servers）] ウィンドウ間を移動できます。